

第 20 回中国地区大学男子ソフトボール大会 2 日目

期日：2020/10/11（日）

会場：尾道市御調ソフトボール場

▼2 日目 第 1 試合 A 球場

環太平洋大学 A 1 6 2 3 12

広島経済大学 0 0 0 0 0 (規定により 4 回コールドゲーム)

環：景山(3 回)、北川(1 回) — 與儀

経：織田(2 回)、青野(1 回 0/3)、織田(3/3) — 正城

本塁打：谷口ま、轉法輪、谷口み、與儀、高草(以上環)

二塁打：井上ゆ(環)

戦評

1 回表、1 番中村が死球で出塁し内野ゴロの間に進塁、3 番井上(裕)が 0-1)から左中間を深々と破るタイムリーツーベースヒットでまず 1 点。

2 回には、この回先頭の 6 番轉法輪がレフトスタンドへソロホームラン。続く 7 番谷口(美)も初球を叩きライトスタンド中段へ 2 者連続のホームランで 2 点を追加。四死球と相手守備の乱れにより 2 点を追加して 5-0。ランナー 1 人を残して 4 番谷口(将)が右中間へツーランホームランで 7-0 と大きくリードした。

3 回にも 7 番谷口(美)が四球を選び 8 番與儀が右中間へツーランホームラン。

4 回は四死球と相手守備の乱れにより 2 点を加点し、代打高草がレフトスタンドへソロホームランを叩き込み 12 点。

守っては景山、北川が無安打の完封リレーで決勝にコマを進めた。

▼2日目 第2試合 A球場

広島大学	210011	5
環太平洋大学B	40121×	8 (規定により時間切れ)

広：神笠(1回)、豊田(2回)、橋本(1回)、建部(1回) — 岡田(3回)江崎(2回)
環：上田(4回、2/3)、濱渦(1回、1/3) — 岩松

本塁打：神笠(広)、岩松(環)
三塁打：豊田(広)、柴田、橋本(以上環)

戦評

立ち上がり、広島大学の攻撃2死から3番岡田にヒットを許し4番神笠にレフトスタンドへ運ばれ2点を先制される。

その裏の攻撃1番松田がレフト前ヒットで出塁。1死後3番岩松がセンターバックスクリーンへ同点ツーランホームラン2-2。4番桑村が四球を選び5番池田の当たりが失策を誘い、6番柴田がレフト線を破るタイムリースリーベースヒットで4-2と逆転に成功。

2回表、先頭の豊田にスリーベース後、ワイルドピッチにより1点を失い4-3。

その後も2点を失ったが、4回に相手のミスに乗じて2点。

5回には橋本の右中間突破の三塁打から1番松田のレフト前ヒットで8点目を奪い8-5で勝利した。

送球ミスや連携プレーのミスなど課題は出たものの、要所で奪った得点により逃げ切った。Bチームは決勝へコマを進めたが、悔いの残る試合となった。

▼決勝戦

環太平洋大学 A 2 1 8 0 11
環太平洋大学 B 0 0 0 0 0 (規定により 4 回コールド)

A : 井上ゆ(2 回)、安藝(2 回) — 與儀

B : 萩原(2 回、1/3)、上田(0/3)、土井(1 回、2/3) — 岩松

本塁打 : 井上ゆ (A)

二塁打 : 中村②、大西②、井上しよ、井上ゆ(以上 A)

戦評

決勝戦は、A ブロック、B ブロックから勝ち上がった環太平洋大学 A と B が対戦することとなった。

A チームは 1 回表、1 番中村が 3-1 から左中間を破るツーベースヒットで出塁、1 死から 3 番井上(裕)が 0-2 と追い込まれていたが、3 球目をジャストミートしライトスタンドへ先制のツーランホームランで 2 点を先取。

2 回表には、1 死から 7 番高草が粘って四球で出塁。続く 8 番大西が 2-2 から右中間を深々と破るタイムリーツーベースヒットで 3 点目。

3 回には、この回先頭の 3 番井上(裕)がツーベースヒット、谷口(雅)、轉法輪、谷口(美)、高草と連続ヒット、次打者 8 番大西が左中間へツーベースヒットの 6 連打で 4 点を追加。9 番が倒れここで萩原から上田にスイッチ、しかし 1 番中村に 2 打席連続となるタイムリーツーベースヒット打たれ 2 者が生還し 6 点目、2 番井上(翔)もタイムリーツーベースヒットで中村がホームを踏み 7 点目、打者は一巡して井上(裕)がライト前のタイムリーでこの回一挙 8 得点を奪い 11-0。

一方、A チーム先発の井上(裕)2 回を被安打 1、3 回からは安藝が 3 人ずつで抑えて 4 回コールドで勝利した。

全国大学男子選抜ソフトボール選手権大会に向け強化試合として、A.B チームに別れて戦ってきたが、最後は戦力に差が出て A チームが優勝となった。B チームには、まだまだ 1 年生にミスが出て失点につながってしまった。

先発の萩原も球威が今ひとつ、続く上田も連投からかスピードが無く、A チームの打線に繋がってしまった。投手陣はもう一度しっかりと体力を整えて飛躍に期待したい。

今回、A チームは打線がつながり 14 安打と猛攻により 11 得点の破壊力は大会に向けて好材料である。